

JBA公認D級コーチ養成講習会

指導実習(実技)テーマ	指導内容詳細(例)
① ボールコントロール指導の方向性	バスケットボール指導教本(上巻) 第4章4-1(P66-67)参照 例) ボールハンドリング、ドリブル パス&キャッチ、ルーズボール&リバウンド
② シュート指導の方向性	バスケットボール指導教本(上巻) 第5章5-1(P94-97)参照 例) 基本的なシュート ワンハンドショット
③ 1対1のオフェンス(パスを受けるための動き)	バスケットボール指導教本(下巻) 第2章2-1-1(P99-103)参照 例) ディフェンスを振りきる動き(Vカット、Lカット、Iカット) ディフェンスの逆をつく動き(バックドアカット)
④ 1対1のオフェンス(パスを受けてからの動き)	バスケットボール指導教本(下巻) 第2章2-1-2(P103-107)参照 例) フロントターンからのプレイ(ジャンプ&ドライブ、又はクロスオーバー) リバースターンからのプレイ(ドロップステップ&スイングスルー又はスクエアアップ)
⑤ 1対1のオフェンス(インサイドの動き)	バスケットボール指導教本(下巻) 第2章2-2(P108-117)参照 例) ゴール下のポジション確保(ダックイン) ローポスト又は逆サイドから移動してパスを受けるための動き(ポストアップ) ディフェンスが左右いずれか又は背後にいてパスを受けた動き(ドロップステップ)

○上記①～⑤のテーマをもとに参照範囲をよくお読みになり指導実習計画表をそれぞれ作成してください。

○作成した計画表5枚は、開催日当日受付にて提出ください。

○作成の際、下記の注意事項を守ってください。

- ・コーチ個人番号は、こちらで記入するので、コーチ氏名のみ記入ください。
- ・計画表を作成するにあたって、その計画の対象者・性別・経験の有無・目的を必ず記入ください。
- ・選手がどこにいても統一した指導を受けることを保証するために、指導計画書及び指導中に用いる用語は、教本に記載されている用語を優先し、教本にない場合は、幅広く浸透している用語を用いる。個人の造語は、好ましくない。
- ・ダイアグラムについては、教本に記載されている記号や線を用いる

指導実習(実技) 計画書

テーマから、指導計画を立ててみましょう。

コーチ個人番号

※指導時間は**20分間**で設定して下さい。

コーチ氏名

テーマ: ① ② ③ ④ ⑤		
指導対象者: ミニ・ジュニア・高校・大学・社会人・その他	性別: 男・女	経験: 有・無
指導の目的:		
時間配分	設定状況	コーチングポイント
		
		
		